

子ども・子育て会議設置へ

付託された周防大島町子ども・子育て会議条例の制定について、審議の結果、全員賛成で可決すべきものと決定。以下、質疑応答の主なものについて報告する。

「子ども・子育て会議の役割について。会議が計画立案だけで終わるのか、どういう会議の役割なのかを今時点でわかる範囲での回答を」との質問に対し、執行部より「教育、保育施設や地域型保育事業の利用定員を定める際や、子ども・子育て支援事業計画を策定・変更する際は、この会議の意見を聴く。また、継続的に点検、評価、見直しを行う」との答弁。「具体的にはどのような事項に関する調査審議を想定しているのか。」との質問に対し、執行部より「第1に、幼児教育・保育・子育て支援のニーズが適切に把握されているか。第2に、教育・保育施設と地域型保育など、施



設・事業のバランスのあり方、幼児教育・保育の提供体制の在り方や目標。第3に、ニーズを満たすだけの必要な地域子ども・子育て支援事業が計画に盛り込まれているか。第4に、費用の使途実績の調査や事業の点検評価。第5に、ニーズ調査いわゆるアンケート調査の項目の検証を予定している。」との答弁。「先行している他の自治体では、委員の選抜方法において公募をしている。子育て中の方、就学前児童を養育している方などを複数公募している。また、これらの公募委員が参加できるように会議の開催時間に配慮したり、託児所を設けるなどの配慮の上、子育て世代の方々の公募を行っているが、周防大島町での公募の予定はあるのか。」との質問に対し、執行部より「第2条

の子ども・子育て会議を組織する委員の公募は考えていないが、第3条の臨時委員については、公募する場合もある。」との答弁。

公共施設視察研修報告

B & G 海洋センター（横見）

6月14日、塩害による雨漏りが出る等、施設の老朽化が進み、またトイレ、シャワー、更衣室がなかったため改修・新築工事（総事業費約

3,447万円）を行った横見にあるB & G海洋センター艇庫を視察研修した。

B & G指導員（B & G海洋センター育成士会有資格者47名）による、海洋性スポーツレクリエーションを通じたスポーツ団体及び青少年の育成を行っている。

平成24年度利用状況は、637名。そのうち体験型修学旅行生の利用が、5団体236名であった。利用形態としては、カヌーをだして近場で練習をして、彦島（約2Km）を往復しており、修学旅行生には無人島に上がれるので喜ばれている。

課題としては、施設への入り口が狭いこと、監視等の不安から監視艇の追加を検討している。

